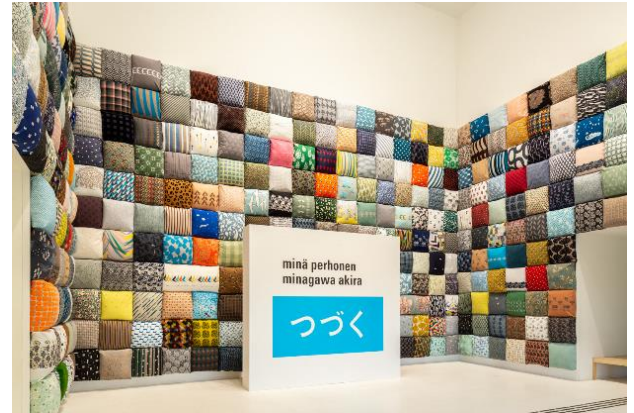


青森県立美術館 企画展『ミナ ペルホネン／<sup>みながわあきら</sup>皆川明 つづく』について

### 1. 開催趣旨

青森県立美術館で、デザイナーの皆川明氏が設立したブランド〈ミナ ペルホネン〉と皆川明氏のものづくりとその思考をこれまでにない規模で紹介する全国巡回展を開催



エントランス展示 Photo\_Manami Takahashi

### 2. 開催期間

2022年7月16日(土)~10月2日(日)

### 3. 展覧会開催の経緯

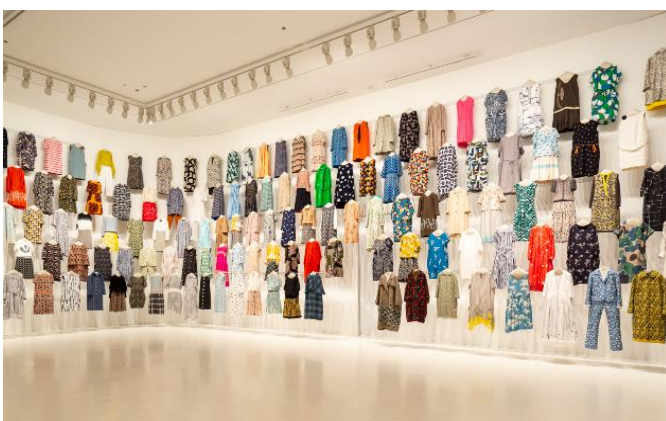
- ・本展覧会は、2019年に東京都現代美術館でスタートし、兵庫県立美術館（2020年）、福岡市美術館（2022年）の全国3か所で開催
- ・全国を巡回してきた本展覧会4か所の開催地となる青森県立美術館の展示は、過去最大規模を誇る。

### 4. 開催テーマ「つづく」について

「時間的な継続性」や、「つながる」「連なる」「手を組む」「循環する」など、多義的な言葉をもつ「つづく」をテーマとしている。

### 5. 展示内容

- ・「森」や「種」などの自然や植物にまつわる名前のついた8つの展示室から構成
- ・生地や衣服、インテリア、食器などのプロダクトに加え、原画、映像、印刷物など、創作の背景を浮き彫りにする作品群や資料を展示



展示室「森」 Photo\_Manami Takahashi



展示室「種」 Photo\_Manami Takahashi

## 6. ミナ ペルホネンと青森県立美術館の関係

- ・2009年以降、ミナ ペルホネンが青森県立美術館の監視員のユニフォームのデザインを担当
- ・今回、各展示室に配置されているミナ ペルホネンのユニフォームをまとった監視員の存在は、青森県立美術館ならではの見どころとなっている。

デザイナー皆川明氏と(株)ミナ田中代表、  
青森県立美術館監視員 Photo\_Manami Takahashi



## 7. その他の主な企画

- ・美術館エントランス前の広場には、皆川氏が監修した初公開となる遊具「kivi<sup>キビ</sup>」を展示
- ・ミナ ペルホネンのグッズや洋服を扱う特設ショップでは、地元企業とのコラボ商品企画としてミナ ペルホネンオリジナルの焼印が施されたミニサイズのりんごの木箱を販売



遊具「kivi」 Photo\_Manami Takahashi



ミニサイズのりんご木箱

### (参考)

#### 1. デザイナー皆川明氏とミナ ペルホネンについて

〈ミナ ペルホネン〉デザイナーの皆川明氏が、ミナ ペルホネンの前身となるミナを立ち上げたのは1995年。ブランド名の「ミナ」はフィンランド語で「私」、「ペルホネン」は「蝶々」を意味する。ストーリー性のある図案をもとに、流行に左右されず、長年着用できる普遍的な価値を持つ「特別な日常服」をコンセプトに、「せめて100年つづくブランドに」という思いでファッションからスタートし、以来インテリア、食器などの生活全般、さらにはデザインを超えたホスピタリティを基盤にした分野へと活動の幅を広げている。

#### 2. 青森県立美術館 企画展『ミナ ペルホネン／皆川明 つづく』開催情報

##### (1)開館時間

9:30～17:00 (入館は16:30まで)

※7月23日(土)、8月27日(土)、9月10日(土)、24日(土)は20:00まで(入館は19:30まで)

##### (2)休館日

7月25日(月)、8月8日(月)、22日(月)、9月12日(月)、26日(月)

##### (3)観覧料

一般 1,500円／高大生 1,000円／小中生以下無料